

展覧会情報

この夏以降開催される地図・地理・歴史に関する展覧会・展示会等についてお知らせします。

■外邦図で見る戦前のアジアと世界Ⅱー満州ー

会場：岐阜県図書館・世界分布図センター

電話 058-275-5111

会期：2005年5月28日～7月28日

■ハザードマップで見る岐阜・日本

会場：同上

会期：2005年8月27日～10月27日

■第11回児童生徒地図作品展

会場：同上

会期：2005年10月29日～12月28日

■古地図の世界ー江戸から東京へー

会場：同上

会期：2006年1月28日～3月30日

いずれも、館外展示もあります。

■奈良へのいざない 絵図に見る旅と街道

会場：奈良大学通信教育部

電話 0742-41-9564

会期：2005年4月1日～9月15日

■甲賀のかたち 絵図に見る村と宿

会場：土山歴史民俗資料館

電話 0748-66-1056

会期：2005年5月14日～6月19日

■2005 地図展 in 厚岸

会場：厚岸町役場（町民ホール）

電話 0153-52-3131

会期：2005年6月1日～6月30日

■浮世絵・絵図でめぐるかながわの名所

会場：横浜市歴史博物館

電話 045-912-7777

会期：2005年5月28日～7月3日

■地図が教える郷土の変遷 未来を拓くつくばの路

会場：地図と測量の科学館

電話 029-864-1872

会期：2005年6月5日～7月24日

■くらしと測量・地図展

会場：新宿駅西口広場イベントコーナー

電話 03-5213-2061（関東測量部）

会期：2005年6月7日～6月9日

■明治・大正・昭和の地理教科書

会場：山口県文書館

電話 083-924-2116

会期：2005年8月（月間小展示）

■絵地図いろいろ

会場：神奈川県立金沢文庫

電話 045-701-9069

会期：2005年8月1日～10月10日

■日本における世界図のあゆみ

会場：神戸市立博物館

電話 078-391-0035

会期：2005年10月22日～11月20日

平成17年度 行事予定

平成17年度の行事予定をお知らせします。

第1回見学会(巡検)は、「地図制作の現場」と題して、デジタル化の進む地図制作を行っている企業を訪ね、またその近辺の巡検とセミナーを行う予定です。現在、受入をお願いする企業との調整を行っております。開催予定は平成17年10月22日(土曜日)ですが、相手先企業の都合で平日に変更する可能性

があります。

詳しくは次回、9月1日頃の「ICICニュース」にお知らせを掲載します。

第2回見学会は、平成18年1月下旬～2月上旬に「相模原とその周辺」もしくは「江ノ島と腰越漁港」のいずれかを開催する予定です。これも12月1日頃の「ICICニュース」にお知らせを掲載します。

ふるってご参加下さい。

第21回 馬事公苑

井口悦男(帝京大学講師)

この春は、2月から4月末まで、梅の頃より、豪勢に八重桜が咲き出すまで、家から20~30分南の馬事公苑に、よく通った。

ここは、世田谷通り北側の農大に対し、その南側にある。堂々とした檜並木道の奥に正門がひかえ、先には、日本中央競馬会(JRA)所属の広大な緑地が広がる。1940(昭和15)年開苑した、1周1キロメートルの周回コースのほか大小の馬場が緑の中に点在し、日々、馬術に励む若者たちと、木々の間を散歩する年寄りたち、あるいは木の下の遊具類に群がる子供たちとひかえる親たちが、ゆったりと交錯する別天地である(入場無料)。

各馬場を囲んで、いろいろな桜が植えられて、花時には新緑を従え、白や薄緑色から濃いピンクの間で、次々とはなやぎを迎える。染井吉野から山桜、枝垂桜そして八重桜各種に至る、春の饗宴が続く。

桜の前には白加賀、紅千鳥、豊後梅の3種を中心に、和菓子の長生殿あるいは山川の紅白を思い起こす花々がウメひろばに設けられた遊具の上で青空に映え、チラホラと咲く。

なかで圧巻なのは、八重桜(里桜)のおりである。御車返えし、御所桜、福祿寿、普賢象、鬱金桜、関山と微妙に色合い、花つき相違するが、これら同種の



馬事公苑の華(八重桜)
お花畑のチューリップと背後を飾る濃いピンクの関山並木
春たけなわの景(05.4.21)

写真: 苑内案内図(揭示板)
緑地の中に各馬場(茶系)、人々の憩える各広場・お花畑(ピンク)が点在する(05.2.22)



並木、混ぜ植え、どちらもそれなりに風情があり、いずれも濃い味わいが取り柄である。一定の年数を経た花は球状にまとまり、手のひらで受け止めると、しっとりとした重みが伝わり、八重ならではの味わいを感じる。それは、染井吉野の淡い単色の広がりから得られるものと異なる、辻々花染か総しぼりを見た思いに似る。

花を賞でる苑内コース順は、毎年一定で、1時間ほど掛け、春を満喫しようと、盛りの花をゆっくりと見上げ、離れにくい気分にしたものである。

図に関していえば、ここが植物園でないためか、苑内花の時期や花々の所在を案内する図を常備しない。その代わりに、苑内各所に案内図が立つ。各馬場の位置が中心となるが、各広場(4)のほか、お花畑(7)、雑木林、池のある日本庭園、菖蒲池など示される。全体の構成、色取りは、緑地のせい、例えば都の神代植物公園の案内図とよく似ている。さらにイギリスのキューガーデンの測量局作成図にも通じる。

いまバラの季節に入る。ここではここではお花畑で楽しめるが、それより日本庭園の池畔に咲く黄あやめが、落ち着いた緑に映える折りである。

(05.5.22)

ICIC ニュース Vol.10 No.1 通巻 33 号
発行年月日: 2005 年(平成 17 年) 6 月 1 日
編集・発行: 財団法人 地図情報センター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5
神保町センタービル 5 階
Tel.03-3262-1486 Fax.03-3234-0872
<http://www.soc.nii.ac.jp/icic/>
E-mail icic_map@yahoo.co.jp